

次代を担う少年の育成のために

下諏訪町少年警察ボランティア協会

工藤 恵子

諏訪少年警察ボランティア協会

少年警察ボランティア協会の発足は、昭和42年10月。最初は「少年友の会」という名称で、活動が始まりました。

子どもたちの安全安心を見守り、そして青少年が犯罪被害に遭わないように、パトロールを行っています。長野県警察本部長より12名が委嘱を受け、3名が指導員、9名が補導員という組織です。



下諏訪町
少年警察
ボランティア
協会

諏訪市
少年警察
ボランティア
協会

活動の趣旨

少年の非行防止及び保護活動を推進するとともに、少年問題に関する勉強会を行い、少年の健全育成に努めています。

活動内容

- ◇毎月第2金曜日午後7時より、下諏訪町交番において定例会。所長さんより下諏訪町の青少年の動向をお聞きし、パトロールのコースを決めて活動しています。
- ◇下諏訪町内4校(社中・下中・南小・北小)の「いじめ・不登校等対策委員会」への参画。
- ◇健全育成活動の推進 「地域ふれあい活動」



諏訪湖博物館・赤彦記念館において、まが玉作り講座に参加して一緒に活動。

また、子どもたちのさまざまな行事(秋の遠足・丸高味噌見学・秋宮のスケート教室等)において、交通安全を見守りながら、心が通うふれあい活動を行っています。



- ◇諸団体の研究会、勉強会へ積極的に参加し、健全に元気で明るく、責任の持てる大人に成長してほしいと願いながら活動しています。

障がいのある子と一緒におもちゃで遊ばませんか!!

下諏訪町おもちゃの図書館

茅野 あぐり

連絡先：27-2377



当会は昭和57年4月に設立され、それ以来大勢の諸先輩の方に引き継がれ、思いを消すことなく現在13名で信濃医療福祉センターで入所の子どもたちと、毎月第1、第3火曜日午後12時に活動しております。

障がいのある子どもたちが健やかに成長することを願い、おもちゃを通して多くの仲間と楽しく遊ぶことが出来るよう、遊びの場を提供しています。また子どもとボランティアとの心のふれあいを、会員同志の研修・交流を目的に活動しています。障がいのある子どもたちを理解し接しながら、わくわくした笑顔の表情におもちゃの持つ力を感じております。

なかでもゲーム遊びは子どもと競い合い、お互い夢中になって声を出して楽しいひと時を分かち合い、おばさんメンバーも、子どもからパワーをもらって活動の喜びを感じています。ぜひこの感動を共有していただきませんか！お待ちしております。

会の悩みは、おもちゃが壊れやすいことです。修理してくださる方がいれば助かります。昨年町ボランティア連絡協議会の研修会で、河口湖の「おもちゃ病院ボランティア」を立ち上げた地域グループを知りました。再生された玩具に喜ぶ親子の笑顔に元気をもらって活動しているそうです。当町にも「おもちゃなおし隊」のようなボランティアグループができることを願っています。

まだまだ新米ボランティアの私

あかりの会

青木 明美

連絡先：27-7446

昭和56年国際障害者年に、下諏訪町点訳ボランティアとして『あかりの会』が発足しました。私は会発足30周年に開催された点字講習会に参加して、そのまま入会させていただきました。毎月第1、第4木曜日。まちづくり協働サポートセンターに集まり、点字プリンターを利用して点訳しています。今までに視覚障害者マラソン協会報、下諏訪町暮らしのガイドブックや観光ガイド、電車の時刻表、ポストの集配時刻表などを点訳してきました。

また去年は点訳文を添えた絵本を町内の小中学校にプレゼントさせていただきました。生徒のみなさんが、少しでも障がい者に対する気持ちを学んでもらえたら…と話し合い、それぞれ人気の絵本を選びました。当日は児童会の代表の方に直接お渡しすることができました。

点字は六つの点だけで文字を表現します。漢字表記は無くひらがなで打ち込んでいくため正しく読む事がとても大切です。点訳する事は、私にとってまだまだ覚える事がたくさんあって大変ですが、少しでもお手伝いができたら嬉しく思います。

